

質問に対する回答

令和7年4月9日

No.	項目名	質問内容	回答
1	【仕様書】 4(1)事業概要	本プログラムでは起業準備層を対象としているが、別プログラムのスタートアップ創出・成長促進のプログラムの対象者とベルソナが被る点もあるが、何か県が想定する本プログラム対象者の明確な定義はあるか？	本プログラムの対象者は仕様書4(2)のとおり、「埼玉県内での起業又は事業実施を目指す大学生、短期大学生、専門学校生及び大学院生等」としています。ご指摘のプログラムの対象とベルソナが被る点もありますが、その中でも「学生」に特化しているのが本プログラムの特徴です。
2	【仕様書】 4(1)事業概要	起業準備層と起業関心層の具体的な定義は設定しているか？ 例えば、他インキュベーションプログラムやビジネスコンテストへの参加経験があるなど。	それぞれの層について、具体的な定義は設定していません。また、本事業で対象とする「起業準備層」は、ビジネスアイデアの事業化に向けた検証等を行っている実証段階の学生を想定しています。ご指摘のような具体的なプログラム等への参加経験については求めています。
4	【仕様書】 4(2)対象者	ターゲットとなる大学生等は、埼玉在住・在学等は関係なく、起業のフィールドとして埼玉県を検討している方なら全て対象となる認識でよろしいですか？	ご認識の通りです。
5	【仕様書】 5(1)参加者募集・選定 エ 広報	ターゲットに向けた周知について、埼玉県庁で既に大学へチラシ配布などができる体制(県内大学とのネットワークなど)はありますか？もしある場合は、本広報で協力いただくことも可能でしょうか？	県では、県内大学におけるアントレプレナーシップ教育の推進を目的とした「アントレプレナーシップ教育推進ネットワーク」を有しています。本プログラムの周知にあたり、このネットワークを活用いただくことは可能ですが、これに加えて受託者がもつネットワークや各種広報手段を活用した周知を期待しています。
6	【仕様書】 仕様書 5(3)集合型講座・個別支援	3～5回程度の集合型講座を実施とありますが、この日程は連日開催でも可能でしょうか？例えば、大学生の夏休みを利用して、2日連続もしくは3日連続などの集中講義とすることは可能ですか？もしくは、回数は日程を分けることが前提ですか？	仕様書5(3)のとおり、集合型講座の回数は3～5回程度としており、日程については定めていません。ついでには、連日での実施も可能です。本事業の目標達成にあたり、最も効果的な日程・回数をご提案ください。
7	【仕様書】 5(5)支援金の支給	支援金の支給は、支給対象者の人数に縛りはありますか？もしくは、一人当たりいくらまでなどの規定はありますか？ない場合、最高額90万円を1人に支給する、といった内容も可能になるのでしょうか？	支給対象者の人数は定めていません。また、上限90万円の範囲で配分して支給することとしており、一人当たりの支援金上限額は定めていないため、県との協議により、上限90万円を一人に支給することも想定されます。
8	【仕様書】 5(5)支援金の給付「ア支給対象者」	支給対象者の上限数は予め決まっているか。	支給対象者の上限数は定めていません。
9	【仕様書】 5(5)支援金の支給「イ支給額」	支援金の上限90万円は、参加チーム全体で最大90万円を支援金として配分するという理解であっているか。	ご認識の通りです。
10	【仕様書】 5(5)支援金の支給「イ支給額」	上限90万円については、「税込金額」若しくは「税抜金額」のどちらになるか。	県と受託者の関係においては、「預り金」として取り扱うことにより、「課税対象外(不課税取引)」とすることが可能です。受託者と支給対象者の関係においては、その性質や受ける状況等により取扱いが異なるため、事前に国税庁や専門機関等に確認の上、個別にご対応ください。
11	その他	事業名については、前年度「CEOチャレンジ」の名称を踏襲か、若しくは新たな事業名を提案するべきか。	必ずしも前年度のプログラム名称「CEOチャレンジ」を踏襲する必要はございません。より本事業に適したプログラム名がございましたら、積極的にご提案ください。
12	その他	昨年度も同事業を実施されていましたが、昨年度実績として実際に起業した学生等はどれくらいいらっしゃるのでしょうか？差し支えなければ、参考までに人数やその内容などを教えていただきたいです。	昨年度参加者のうち起業した学生はおりますが、人数や事業内容等の詳細は現状公開していないため、この場での回答は控えさせていただきます。